

# 宝物探しから始まる

## 地域づくり

皆さまは、自分の地域にどんな資源や活動の場があるかをご存じでしょうか。2025年には、団魂の世代が75歳以上になり、医療や介護の需要が今よりさらに増加することが見込まれています。年をとって体が不自由になっても、住み慣れた地域で今まで通り暮らし続けるためには、地域にある資源や活動の場「**宝物**」を上手に活用していくことが大事になります。

### 地域での支えあいの仕組みづくりの取組 (生活支援体制整備事業)

生活支援体制整備事業とは、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、仕組みや資源を

整備したり、新たに作り出したりすることを目的に行っている事業です。どんなことを行っているか皆さまに知っていただくため、定期的に活動状況をお知らせしていきます。



### 協議体の発足

10年後、自分たちの町がどんな町だったか暮らしやすいか、どんなサービスがあったらいいか... これからの町の在り方を考えていくため、平成27年に協議体を発足しました。

協議体はかっちりした会議ではなく、わいわいがやがや自分たちの希望を話し合い、具体化していくための場です。

**生活支援コーディネーター**  
協議体の取りまとめ役として、生活支援コーディネーターが配置されています。

○地域にある宝物(資源)：人、もの、場所)を見つける  
○地域に足りないものを作り出す

### 現在の参加メンバー

御代田町社協、ボランティア地域活動連絡協議会、地区社協、生協(くらしの助け合いの会)、ナルク東信州みよた、はつらつサポーター、シルバー人材センター、老人連合会、民生児童委員、区長会

**事務局**  
保健福祉課介護高齢係  
地域包括支援係

○困りごとと資源をつなげる  
これが、コーディネーターの役割です。



コーディネーターの  
重田重嘉氏(右)と  
山本邦重氏(左)

**コーディネーターから**  
平成28年度から、生活支援コーディネーターを担っています。今年度は、地域にどんな宝物があるかメンバーの皆さんと一緒に探し、まとめていきたいと思えます。

## これまでの取組

### 実績

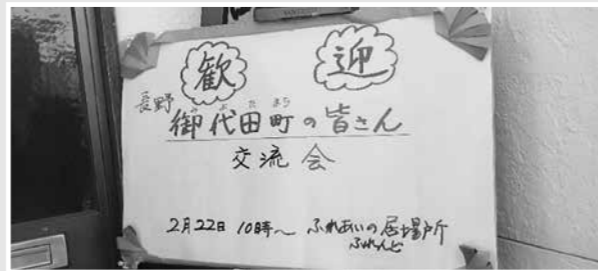
- NPO法人御代田町はつらつサポーターの立ち上げ、移送サービスの開始
- 新たな事業所(まごころ弁当)の参入

### 課題

- 移送支援について
- 配食サービスについて



視察の様子



## 今年度の活動予定

今年度は、年間を通して地域の宝さがしを実施し、資源マップ作りをしていきます。また、足りない資源やあったらいいなと思う資源についても、話し合いを進めていきます。

活動名 主催団体名	活動内容 活動場所	対象者	活動日時	利用料の有無

(資料: 地域の宝探し)

## メンバー募集

来年度以降、一緒に話し合いに参加して下さるメンバーを募集します。

この事業は、**地域の皆さまが主役**です!「私の地域ではこんな活動しているよ」「この先、こんな町だったら暮らしやすいな」...そんな意見をお持ちのあなた!“わいわいがやがや”一緒に話し合いませんか。

※今後は、2カ月に1度『介護のとびら』の下段にて活動を報告していきます。

問い合わせ先 保健福祉課地域包括支援係(31)2510